

美術講座 日本画について

1941年東京生まれ。1967年東京藝術大学大学院日本画修了。現在、東京藝術大学教員、愛知独立芸術大学客員教授、日本美術院常務理事。

講師 田淵 俊夫
たぶらしお
日本画専攻客員教授

講座内容
日本画は千載百年という長い伝統を持つ、世界に類を見ない絵画様式です。しかし、歴史にみまると日本画は何度も存亡の危機にさらされて、時には日本画滅亡論まで叫ばれたことがあります。しかし、日本画はそのたびに不死鳥のように甦り、今その輝きをみているのです。それはなぜでしょうか。そして、そもそも日本画とはどういふものなのでしょうか。そこで、見たことはあっても、素材や技法はあまり知らないという日本画について、その一端を紹介したいと思います。

開催日時 平成22年11月14日(日) 14:00~16:00
会場 アートスペースA
定員 180名
受講料 一般1,000円 学生500円

美術講座 日本画

1964年 大阪府生まれ。1990年 愛知独立芸術大学大学院修了。現在 日本美術院特待 愛知独立芸術大学准教授

講師 吉村 佳洋
よしむら よしひろ
日本画専攻准教授

講座内容
日本画を制作されている方、また興味をお持ちの方々に、日本画制作の過程を自身のスライドで紹介したいと思います。100号の大作と10号程度の小品の制作過程を工程ごとに説明致します。

開催日時 平成22年12月12日(日) 14:00~16:00
会場 アートスペースE-F
定員 60名
受講料 一般1,000円 学生500円

美術講座 油画

東京藝術大学油画専攻卒業。表現の制作と発表を続けている。『ゴッホの遺言』でゴッホの制作を明らかにして以来、ゴッホを中心に執筆活動にも従事している。『ゴッホの証明』が『ゴッホの遺言』の続編として出版された。

講師 小林 英樹
こばやし ひでき
油画専攻教授

講座内容
来春、ゴッホ没後120周年記念の大きな回顧展(巡回展)が名古屋国立美術館で開催されます。今回は、門外不出とされていたファン・ゴッホ美術館の『アルルの寝室』(オリジナル)も来ます。本講座を受講すれば、展覧会の作品の見方と随分変わるでしょう。入手できる可能な範囲から集めたデータを収録しました。過去に受講された方も、珍しい作品を多く紹介する上で、驚かされるような新たな発見があると思います。多面的に、そして、今回はゴッホの死にも迫りたいと思います。一回に見せる作品は100枚程度(4回見せ別)、他のどんなゴッホの講座よりも詳細ですので、ゴッホに精通している人も退屈させません。初心者にもわかりやすく説明します。(計4回、各講座は独立しています。連続で受けていただくといいのですが、もし、無理なら、ばらばらでも問題ありません。)

1 回目:ゴッホの素描(全時代)
2 回目:オランダからアルルの夏までの油絵作品
3 回目:アルルの夏から最後の油絵作品
4 回目:ゴッホの創作を、造形的特徴から明らかにする。(発表作品を中心に、その周辺にある疑わしいものを対象とします。)

なお、8月初旬に『ゴッホの宇宙(そら)』(中央公論新社・1800円・読む書集)が刊行されます。画家ゴッホの通史で、造形的視点から書かれています。著者の仮説も多く含む本です。興味のある方は事前に一読願えますと、講座の充実度が増すと思います。

開催日時 平成22年10月22日(金) 19:00~20:30
第2回目 平成22年10月29日(金) 19:00~20:30
第3回目 平成22年11月12日(日) 19:00~20:30
第4回目 平成22年12月10日(金) 19:00~20:30
会場 アートスペースA
定員 各回 180名
受講料 各回 一般1,000円 学生500円

美術講座 油画

1934年東京八王子生まれ。1959年、東京藝術大学美術学部油画科卒業。61年、同大学美術学部油画専攻修了。07年より愛知独立芸術大学准教授、明治美術学会理事、日本美術家連盟会員。30年にわたって『東洋の洋画家』美術自由の雑誌の編輯に取り組み、油絵作品の制作を科学的に調査してきた。

講師 歌田 真介
うたがた しんすけ
油画専攻客員教授

講座内容
東西の絵画表現の大きな差異は、ものの立体的捉え方にある。例えば、レンブラントの顔面は明確を描き分け立体的である。浮世絵の歌麿や写実の顔には、明確表現はない。平面・線画的である。このように、西洋とは全く異なる伝統美術を持つ日本であるが、明治時代以降洋画が急激に普及した。本講座では、スライドを多数用意する。西洋絵画の技法や材料を説明しながら、その特色を明らかにする。また、おなじみの伝統絵画と対比して、それぞれの特徴について理解を深める。その上で明治時代以降の洋画家が西洋画をどのように受け入れたのかを解説する。明治時代の日本画はどのように対応したのか、西洋画受容の中で、起こった問題を明らかにして、今後の指針としたい。受講者には、絵画鑑賞がより深くなる機会となるでしょう。

開催日時 平成22年12月11日(土) 14:00~16:00
会場 アートスペースE-F
定員 60名
受講料 一般1,000円 学生500円

美術講座 デザイン

愛知独立芸術大学卒業。グラフィックデザイナー。愛知独立芸術大学教員、愛知独立芸術大学のデザイン、実業のデザインを研究し、リモモト隆雄のグラフィックデザインや日本福祉大学のシンボルマーク、漢字をテーマにしたポスターや展覧など、基礎研究を応用させた作品が多数ある。著者に『Shiraki Akira Design Life』(時事日本社)、エッセイ『デザイン』(朝日新聞)など出版された。

講師 白木 彰
しらかしあきら
デザイン専攻教授

講座内容
本デザイン専攻でおこなっているデザイン基礎実習Ⅰ:色彩研究(作品講評)の授業を体験してもらいます。下記の色彩研究の作品を当日までに制作してください。その作品を当日持参してもらい、色彩研究の講評をおこないます。
課題A B3の画面に「浮かんだ立体」を色彩で表現しなさい。
課題B B3の画面に「あなたの太陽」を色彩で表現しなさい。
A、Bどちらかの課題を選択して制作してください。(両課題制作可)
両課題ともに、画面の縦、横の使い方や、形、色数など、すべて自由に考えてください。B3サイズのパネル(水張り)か、イラストレーションボードを使用してください。また、線の長は、ポスターカラーなど色の画成りしやすいものを使用してください。

色彩の授業を通してデザインの基礎について講義します。持参作品がなく、聴講だけでも構いません。時間の都合上、参加していただいたすべての方の作品を講評できない場合があります。ご了承ください。

開催日時 平成22年11月27日(土) 13:00~16:20
会場 アートスペースE-F
定員 40名
受講料 一般1,000円 学生500円

美術講座 デザイン

1968年生まれ。愛知独立芸術大学修了。現在、愛知独立芸術大学美術学部准教授。専門領域はウェブコミュニケーションデザイン、研究テーマとして「文字と書体のデザイン」に着眼している。

講師 佐藤 直木
さとう なおき
デザイン専攻准教授

講座内容
漢字は古代中国に生まれ、東アジアにおける重要な情報伝達媒体として、現代でも変わらず使われ続けています。他の古代文明で使用されていた文字がその意味と趣意を失っていったなかで、漢字はなぜ3,500年もの長期間にわたって命脈を保ち続けていることができたのでしょうか。漢字の字源、造形原理を解説するとともに、時代とともに少しずつ字形を美化しながらも現代にまで継承されてきた漢字の歴史を語ります。そこには、古代中国人の感性と、それを受容しながら独自の展開を模索した後世の人々の知恵があります。漢字はその一点一面に歴史を内包した「データベース」なのです。知れ知るほど楽しい漢字の世界をあなたも体験してください。サテライトギャラリーにて同時開催中の展覧会もお楽しみいただけます。

開催日時 平成22年11月28日(日) 13:00~14:30
会場 愛知独立芸術大学サテライトギャラリー
定員 30名
受講料 一般1,000円 学生500円

美術講座 デザイン

愛知独立芸術大学卒業。グラフィックデザイナー。愛知独立芸術大学教員、愛知独立芸術大学のデザイン、実業のデザインを研究し、リモモト隆雄のグラフィックデザインや日本福祉大学のシンボルマーク、漢字をテーマにしたポスターや展覧など、基礎研究を応用させた作品が多数ある。著者に『Shiraki Akira Design Life』(時事日本社)、エッセイ『デザイン』(朝日新聞)など出版された。

講師 白木 彰
しらかしあきら
デザイン専攻教授

講座内容
本デザイン専攻でおこなっているデザイン基礎実習Ⅰ:色彩研究(作品講評)の授業を体験してもらいます。下記の色彩研究の作品を当日までに制作してください。その作品を当日持参してもらい、色彩研究の講評をおこないます。
課題A B3の画面に「浮かんだ立体」を色彩で表現しなさい。
課題B B3の画面に「あなたの太陽」を色彩で表現しなさい。
A、Bどちらかの課題を選択して制作してください。(両課題制作可)
両課題ともに、画面の縦、横の使い方や、形、色数など、すべて自由に考えてください。B3サイズのパネル(水張り)か、イラストレーションボードを使用してください。また、線の長は、ポスターカラーなど色の画成りしやすいものを使用してください。

色彩の授業を通してデザインの基礎について講義します。持参作品がなく、聴講だけでも構いません。時間の都合上、参加していただいたすべての方の作品を講評できない場合があります。ご了承ください。

開催日時 平成22年11月27日(土) 13:00~16:20
会場 アートスペースE-F
定員 40名
受講料 一般1,000円 学生500円

美術講座 デザイン

1968年生まれ。愛知独立芸術大学修了。現在、愛知独立芸術大学美術学部准教授。専門領域はウェブコミュニケーションデザイン、研究テーマとして「文字と書体のデザイン」に着眼している。

講師 佐藤 直木
さとう なおき
デザイン専攻准教授

講座内容
漢字は古代中国に生まれ、東アジアにおける重要な情報伝達媒体として、現代でも変わらず使われ続けています。他の古代文明で使用されていた文字がその意味と趣意を失っていったなかで、漢字はなぜ3,500年もの長期間にわたって命脈を保ち続けていることができたのでしょうか。漢字の字源、造形原理を解説するとともに、時代とともに少しずつ字形を美化しながらも現代にまで継承されてきた漢字の歴史を語ります。そこには、古代中国人の感性と、それを受容しながら独自の展開を模索した後世の人々の知恵があります。漢字はその一点一面に歴史を内包した「データベース」なのです。知れ知るほど楽しい漢字の世界をあなたも体験してください。サテライトギャラリーにて同時開催中の展覧会もお楽しみいただけます。

開催日時 平成22年11月28日(日) 13:00~14:30
会場 愛知独立芸術大学サテライトギャラリー
定員 30名
受講料 一般1,000円 学生500円

室内楽 響宴 一 室内楽の魅力I【ブラームス】

講師 天野 武子
あまの たけこ
音楽専攻(弦楽器)教授

加藤 美緒子
かとう みおこ
音楽専攻(ピアノ)准教授

竹村 淳司
たけむら じゅんじ
音楽専攻(打楽器)准教授

福本 泰之
ふくもと やすゆき
音楽専攻(弦楽器)教授

白石 禮子
しらいし れいこ
音楽専攻(弦楽器)准教授

講座内容
2008年に弦楽系コースの教授陣により結成された「愛・知・芸術のより 弦楽五重奏団」のメンバーが中心となって行うレクチャーコンサート「響宴一 室内楽の魅力I」の第1回として、ピアニスト掛谷勇三准教授とホルンの竹村淳司准教授を迎えます。演奏曲目はブラームスのピアノ三重奏曲 第2番・長調 作品87とホルン三重奏曲 変奏長調 作品40の2曲です。ブラームスは素晴らしいピアニストでもありました。このピアノトリオの第2楽章のヴァイオリンとチェロの語り合いは深い思ひみに満ちています。ホルンの力強いけれど柔らかない魅惑的な音色に包まれながら、室内楽の魅力探検家として弦楽器とピアノとの響き合いの宴にどうぞご参加下さい。演奏者:掛谷勇三(ピアノ)、竹村淳司(ホルン)、福本泰之(ヴァイオリン)、白石禮子(ヴァイオリン)、天野武子(チェロ)

開催日時 平成22年10月27日(水) 19:00~20:30
会場 中リハール室
定員 120名
受講料 一般2,000円(一般のみ回数券あり) 学生1,000円

室内楽 響宴 一 室内楽の魅力II【シューマン】

講師 天野 武子
あまの たけこ
音楽専攻(弦楽器)教授

加藤 美緒子
かとう みおこ
音楽専攻(ピアノ)准教授

百武 由紀
ひゃくたけ ゆき
音楽専攻(弦楽器)教授

白石 禮子
しらいし れいこ
音楽専攻(弦楽器)准教授

桐山 建志
きりやま たけし
音楽専攻(弦楽器)准教授

福本 泰之
ふくもと やすゆき
音楽専攻(弦楽器)教授

講座内容
「愛・知・芸術のより 弦楽五重奏団」のメンバーが中心となって行うレクチャーコンサート「響宴一 室内楽の魅力II」の第2回として、ピアニスト加藤美緒子教授を迎えます。演奏曲目はシューマンのピアノ五重奏曲 変奏長調 作品44とヴァイオリンとピアノによるおとぎの絵本 作品113の2曲です。シューマンは誕生200年の記念の年に、シューマンの音楽の神髄に近づき、究極のロマンティズムを共感して頂けるようお話を加えながら演奏いたします。室内楽の魅力探検家として我々弦楽系同志とピアノとの響き合いの宴に是非ご参加下さい。演奏者:加藤美緒子(ピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、白石禮子(ヴァイオリン)、福本泰之(ヴァイオリン)、百武由紀(ヴァイオリン)、天野武子(チェロ)

開催日時 平成22年11月25日(木) 19:00~20:30
会場 中リハール室
定員 120名
受講料 一般2,000円(一般のみ回数券あり) 学生1,000円

室内楽講座には、お得な回数券をどうぞ!

室内楽3講座については、I・II・IIIを1セット5,000円とした回数券を用意しました。各講座開催日の受付、および本学芸術情報課にて販売します。ぜひ、ご利用ください!

室内楽 響宴 一 室内楽の魅力III【メンデルスゾーン】

講師 桐山 建志
きりやま たけし
音楽専攻(弦楽器)准教授

加藤 美緒子
かとう みおこ
音楽専攻(ピアノ)教授

白石 禮子
しらいし れいこ
音楽専攻(弦楽器)准教授

福本 泰之
ふくもと やすゆき
音楽専攻(弦楽器)教授

百武 由紀
ひゃくたけ ゆき
音楽専攻(弦楽器)教授

天野 武子
あまの たけこ
音楽専攻(弦楽器)教授

講座内容
「愛・知・芸術のより 弦楽五重奏団」のメンバーが中心となって行うレクチャーコンサート「響宴一 室内楽の魅力III」の第3回として、ピアニスト加藤美緒子教授を迎えます。演奏曲目はメンデルスゾーンのピアノ三重奏曲 第1番 二短調 作品49と弦楽五重奏曲 第1番 変奏 作品18の2曲です。今回の弦楽五重奏曲は現在販売されていないゲートフレッド版の演奏となります。ピアノトリオとしては最もピュアな名曲と、余り演奏されないけれど素晴らしい弦楽五重奏曲。室内楽の魅力探検家として我々弦楽系同志とピアノとの響き合いの宴に是非ご参加下さい。演奏者:加藤美緒子(ピアノ)、白石禮子(ヴァイオリン)、福本泰之(ヴァイオリン)、桐山建志(ヴァイオリン)、ヴァイオリン、天野武子(チェロ)

開催日時 平成23年1月29日(土) 14:00~15:30
会場 中リハール室
定員 120名
受講料 一般2,000円(一般のみ回数券あり) 学生1,000円

「市街劇」をめぐって

愛知独立芸術大学音楽学部音楽教育専攻教授、早稲田大学演劇博物館グローバルCOE研究協力者、博士(学術)。専門は近代ドイツ演劇。文化史、共演「メディア論—現代ドイツにおけるパブリック・シフト」、『演劇』インタラクティブ—日本ドキュメント、訳書に『ラウンド・シムル』(アーツ・エクスプレス)などがある。

講師 大塚 直
おつか なお
音楽専攻(ドイツ演劇)准教授

講座内容
劇場から市街へ、体験から相互創造へ。1969年ドイツ・フランクフルトで開催された国際演劇祭「エクスプレメンツ3」に参加した市街劇は、このドイツ体験から「パブリック」の「偶然性」「アクシデント」に注目し、帰国後に市街劇からのアジェンダとして演劇を捉える「市街劇」をスタートさせる。1960年代の西洋演劇全史において「パフォーマンス」の転回が始まり、作品に代わって一回性という上演のなかで出来事性を産出する新しい演劇美学が勃興するが、本講座ではこのような「パブリック」転換を、主に市街劇の「市街劇」を手がかりに考察してみた。

開催日時 平成22年11月20日(土) 14:00~16:00
会場 アートスペースE-F
定員 60名
受講料 一般1,000円 学生500円

レクチャーコンサート「現代のピアノ」

講師 松本 総一郎
まつもと そういちろう
音楽専攻(ピアノ)教授

講座内容
「アメリカ編 その2: Aaron Copland (1900~1990)」近代アメリカを代表する作曲家の一人「Aaron Copland」の作曲家としての軌跡をたどり、彼が探求した音楽、作品の神髄をさぐる。また、Coplandの代表的なピアノ作品を音源や演奏を通して紹介する。演奏者は演奏家として活躍中の本学卒業生及び修了生。

開催日時 平成22年12月4日(土) 14:00~15:30
会場 中リハール室
定員 90名
受講料 一般2,000円 学生1,000円

愛知県立芸術大学
サテライト講座 参加者募集案内
愛知県立芸術大学の講師陣が来て特別講座を開講します。あなたも参加してみませんか?

主催:愛知県立芸術大学 / 愛知芸術文化センター
開催場所:愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA、E・F / 地下2階 大リハール室・中リハール室
愛知独立芸術大学サテライトギャラリー
住所:愛知芸術文化センター(名古屋市中区東区1-13-2 (地下鉄「栄」駅下車、徒歩3分))
愛知独立芸術大学サテライトギャラリー(名古屋市中区錦3-21 中央駅小路ビル3階 (地下鉄「栄」駅9番出口より徒歩5分))
申込方法:いずれかの方法でお申込みください。
1. 往復はがきにて...
①希望講座名 ②住所(郵便番号) ③氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤年齢 ⑥(学生の場合は学校名)をご記入のうえ、下記までお申し込みください。(1枚で、複数講座お申し込みいただけます。)
〒480-1194 (住所記入不要) 愛知独立芸術大学「サテライト講座」係
2. インターネット上の愛知独立芸術大学ホームページから...
(http://www.aichi-fam-u.ac.jp) から、手順に従ってお申込みください。
※ 原則として申込締切日は講座開講の3日前までです(公開レッスン受講者を除く)。
※ 申込締切日になっても定員に満たない場合は、締切日以降も受け付けますので、講座ごとにお問い合わせください。
※ 公開レッスンを受講希望される方は、講師による選考がございます。
問い合わせ先: 愛知独立芸術大学 愛知独立芸術大学 芸術情報課
愛知県豊田郡長久手町大字岩作字三ツ峯1-114
TEL:0561-62-1180 FAX:0561-62-0083 E-mail: aigeiweb@mail.aichi-fam-u.ac.jp http://www.aichi-fam-u.ac.jp/
受講決定方法: 往復はがきの場合、先着順で受付、受講決定者に、はがきで通知(受講決定通知)します。
インターネットの場合、先着順で受付、受講決定者に、返信メールで通知(受講決定通知)します。
受講料支払方法: 受講決定通知書をご持参のうえ、当日会場にてお支払いください。学生の方は受付時に学生証を提示ください。なお、混雑が予想されますので、開講15分前までにはお越しください。なお、室内楽の回数券は、各講座開催日の受付、および本学芸術情報課にて販売します。

プレ・サテライト講座

■美術講座(現代美術) ■ 受講料(一般)1,000円(学生)500円 ※トリエンナーレ会場申込みの価格です。

22.8.28(土)29(日)「よいちりエンナーレ2010」を見ながら、現代美術を読んでみよう(トリエンナーレガイドツアー) トリエンナーレ会場 各10名
森田由起

サテライト講座

■美術講座(日本画) ■ 受講料(一般)1,000円(学生)500円

22.11.14(日) 日本画について アートスペースA 180名
14:00~16:00 田淵俊夫

22.12.12(日) 日本画制作の過程を通して アートスペースE-F 60名
14:00~15:30 吉村佳洋

■美術講座(油画) ■ 受講料(一般)1,000円(学生)500円

22.10.22(金) ゴッホの素描(全時代) アートスペースA 180名
19:00~20:30 講座までわからないゴッホの遺言① 小林英樹

22.10.29(金) オランダからアルルの夏までの油絵作品 アートスペースA 180名
19:00~20:30 講座までわからないゴッホの遺言② 小林英樹

22.11.12(金) アルルの夏から最後の油絵作品 アートスペースA 180名
19:00~20:30 講座までわからないゴッホの遺言③ 小林英樹

22.12.10(日) ゴッホの創作を、造形的特徴から明らかにする アートスペースA 180名
14:00~16:00 講座までわからないゴッホの遺言④ 小林英樹

22.12.11(日) 東西の視覚(絵画表現の差異) アートスペースE-F 60名
14:00~16:00

■美術講座(デザイン) ■ 受講料(一般)1,000円(学生)500円

22.11.27(土) 色彩(講義と作品講評) アートスペースE-F 40名
13:00~16:20 白木彰

22.11.28(日) 文字の世界—漢字を知る、楽しむ 愛知独立芸術大学サテライトギャラリー 30名
13:00~14:30 佐藤直木

■教養講座(英語) ■ 受講料(一般)1,000円(学生)500円

22.11.20(土) 「市街劇」をめぐって アートスペースE-F 60名
14:00~16:00 大塚直

■室内楽 ■ 受講料(一般)2,000円(学生)1,000円 ※一般のみ回数券があります。室内楽I・II・III連 5,000円

22.10.27(木) 響宴一 室内楽の魅力I【ブラームス】 中リハール室 120名
19:00~20:30 掛谷勇三 演奏 加藤美緒子(ピアノ) 白石禮子(vn) 福本泰之(va) 百武由紀(vn) 天野武子(vc)

22.11.25(木) 響宴一 室内楽の魅力II【シューマン】 中リハール室 120名
19:00~20:30 掛谷勇三 演奏 加藤美緒子(ピアノ) 白石禮子(vn) 福本泰之(va) 百武由紀(vn) 天野武子(vc)

23.1.29(土) 響宴一 室内楽の魅力III【メンデルスゾーン】 中リハール室 120名
14:00~15:30 掛谷勇三 演奏 加藤美緒子(ピアノ) 白石禮子(vn) 福本泰之(va) 百武由紀(vn) 天野武子(vc)

■レクチャーコンサート(ピアノ)演奏とお話 ■ 受講料(一般)2,000円(学生)1,000円

22.12.4(土) 「近現代のピアノ」作品をめぐって」第2回—アメリカ編 その2— 中リハール室 90名
14:00~15:30 松本総一郎

■公開レッスン(声楽) ■ 受講料(レッスン受講)3,000円 (見学:一般)1,000円(見学:学生)500円

22.11.7(日) 北欧の歌曲—スウェーデン、ノルウェー、フィンランドから— 大リハール室 90名
14:00~15:30 末吉利行

23.1.30(日) 日本の歌曲を歌う 第3回目 中リハール室 90名
13:30~15:30 末吉利行

■公開レッスン(ピアノ) ■ 受講料(レッスン受講)3,000円 (見学:一般)1,000円(見学:学生)500円

22.11.13(土) ショパン「練習曲 作品10、25」から学ぶこと 中リハール室 90名
14:00~16:00 熊谷恵美子

■公開レッスン(ヴァイオリン) ■ 受講料(レッスン受講)3,000円 (見学:一般)1,000円(見学:学生)500円

22.11.6(土) 音で語る III 中リハール室 90名
14:00~16:00 白石禮子

http://www.aichi-fam-u.ac.jp/

公開レッスン 声楽

北欧の歌曲—スウェーデン、ノルウェー、フィンランドから—

講師 末吉 利行
すまよしとしゆき
声楽専攻教授

講座内容
スウェーデン出身のコントラルト歌手、王立音楽大学(ストックホルム)卒業後、オペラやコンサートで活躍。1991年からは後進の指導にもあつており、1999-2003年、さらに2007年からは、愛知独立芸術大学に客員教授として招聘されている。

講座内容
北欧の歌曲は、まだまだ日本では馴染みが薄いかも知れませんが、実に美しく、豊かな表情を持っています。今回は、愛知独立芸術大学大学院の学生2人を受講生とした公開レッスンで北欧の歌曲を探り上げ、曲作りの過程の中で、その魅力を皆さまにお伝えしたいと思います。

受講者:辻井亜季穂(ソプラノ)、大久保亮(テノール)
曲:目: グリーク(トルペイの歌 Solveigs sang)
W. ステンハマル(童謡の Stjarnanna) 他

※公開レッスンの受講者は、あらかじめ決まっているため募集はいたしません。

開催日時 平成22年11月7日(日) 14:00~15:30
会場 大リハール室
定員 90名
受講料 一般1,000円 学生500円

公開レッスン 声楽

日本の歌曲を歌う

講師 末吉 利行
すまよしとしゆき
声楽専攻教授

講座内容
日本人の演奏家として、日本作品を演奏することは当然であり宿命だと考えています。しかし、声楽演奏での演奏には克服しなければならない沢山の課題が存在します。今回は、日本語(日本語訳のオラリアアを含む)を題材にして、その課題をクリアし、明確な日本語発音と適切な表現法を習得する過程を公開レッスン形式でごらんいただきたいと思っています。専門家だけでなく一般の方々にも参加し、実践して頂きたいと思っています。

公開レッスン受講者募集
対象:音楽大学生、及び卒業生
一般(合唱団活動等の音楽歴を有する方、楽譜の読める方)

募集人数:若干名
演奏曲目:日本語(日本語訳のオラリアアを含む)を1曲
受講申込締切:平成23年1月17日(月)必着
申込方法:往復はがき以下①~④の必要事項をご記入の上、お申し込みください。
①名前、年齢、性別、連絡先(住所、電話番号)
②演奏曲の作曲者名、作品名(調性を明記)
③音楽歴(合唱団員等、等)

書類選考によりレッスン受講者を決定いたします。レッスン受講者に選ばれた方には申込済み締め切り後に電話でご連絡いたします。選ばれた場合は事前に演奏曲の楽譜の提出をお願いします。また、伴奏ピアニストはご自分で用意いたします。当日に伴奏合わせの時間を設ける予定です。

開催日時 平成23年1月30日(日) 13:30~15:30
会場 中リハール室
定員 レッスン受講:若干名 見学:90名
受講料 レッスン受講:3,000円 見学:一般1,000円 学生500円

公開レッスン講座について

公開レッスン講座(「北欧の歌曲」を除く)については、レッスン受講者を募集しています。各講座の募集要項をご確認のうえ、お申し込みください(3,000円)。また、レッスンの見学のみの参加も受け付けています(1,000円)。

公開レッスン ピアノ

ショパン「練習曲 作品10、25」から学ぶこと

講師 熊谷 恵美子
くまがい えみこ
音楽専攻(ピアノ)教授

講座内容
公開レッスンを通して、ショパンの練習曲について検証する。
-楽譜からわかること。
-練習曲の目的とその演奏方法、練習の方法について受講者とともに考えてみましょう。

公開レッスン受講者募集
対象:ショパンの練習曲を勉強している方。暗譜で、勉強している1曲を通して弾ける方。
募集人数:2~3名
演奏曲目:ショパン「練習曲 作品10、25」の中から1曲
受講申込締切:平成22年10月21日(木)必着
申込時記入要件:
1. 氏名、年齢、性別、連絡先(住所、電話番号)
2. 演奏曲目
3. 音楽歴(学校名、受賞歴等)
書類選考によって受講者を決定いたします。受講者決定次第、ご連絡いたします。

開催日時 平成22年11月13日(土) 14:00~16:00
会場 中リハール室
定員 レッスン受講:2~3名 見学:90名
受講料 レッスン受講:3,000円 見学:一般1,000円 学生500円

公開レッスン ヴァイオリン

音で語る III

講師 白石 禮子
しらいし れいこ
音楽専攻(弦楽器)准教授

講座内容
今年で4回目となる公開レッスン。一般よりご応募頂いた中から2~3名の方に受講者としてご参加頂き、音楽を演奏する上で必要な楽譜の読み方(楽曲の分析、解釈)、楽譜の中で出来上がった音楽を楽譜に表現する「テクニク」等、楽曲をより深く、魅力的なものにも作り上げていく過程を公開レッスン形式でご覧頂きたいと思っています。

ヴァイオリン公開レッスン受講者募集
対象(年齢要件:経験)小中学校4年以上のヴァイオリンを勉強している方(音楽高校や音楽大学の学生及び卒業生を含む)
募集人数:2~3名
演奏曲目:15分以内のヴァイオリン曲
受講申込締切:平成22年10月19日(水)必着
申込時記入要件:以下の2点を同時に上、お申し込み下さい。
1. 本人による受講希望曲の演奏を録音したCD、MD、カセット等
2. 以て①~④の事項を明記した書面
①名前、年齢、性別
②演奏曲、作品番号
③音楽歴(学校名、受賞歴、師事等)
④連絡先(住所、電話番号)

書類、音源選択により受講者を決定致します。
レッスン受講者に選ばれた方には申し込み締め切り後にご連絡いたします。伴奏者は各自ご同僚下さい。選ばれた方には、事前に受講曲の楽譜提出をお願いします。

開催日時 平成22年11月6日(土) 14:00~16:00
会場 中リハール室
定員 レッスン受講:2~3名 見学:90名
受講料 レッスン受講:3,000円 見学:一般1,000円 学生500円

サテライト講座

http://www.aichi-fam-u.ac.jp/